

# 国語科学習指導案

日 時 平成 26 年 10 月 2 日 (木)  
児 童 厚岸町立〇〇小学校 第 1 学年  
指 導 者 厚岸町立教育研究所 国語部会

## 1. 「育てたい言語能力」

### 問いと答え（順序）

時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと（C「読むこと」イ）

## 2. 貫く言語活動 たべあとクイズをつくろう～このたべあとだれだ～

言語活動例「ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読む」

## 3. 教材名 『だれが、たべたのでしょうか』（教育出版 1年上）

## 4. 「育てたい言語能力」に関わって

### 【児童の実態】

《 省 略 》

### 【教材について】

- 本教材は、平仮名の学習がひと通り終了し、自らの力で文章を読もうとする意欲が喚起されている時期に設定されている。また、説明文の系統では、「なにが、かくれているのでしょうか」に続く二つめの文章であり、「なにが、かくれているのでしょうか」で身につけた力を活用する姿が期待される。
- 文章構成も、「なにが、かくれているのでしょうか」と同じく、問題事象の提示→写真による確認→問い設定→答えの提示という展開になっていて、それが三回繰り返されていて、わかりやすい叙述になっている。このような文章を読むことを通して、「説明文とは問いに対する答えを示すこと」という気づきを確認なものにすることができる。
- 目的意識、相手意識を持ち、問いと答えを理解して自分でクイズを作ったり、作り方を友達に教えたりする活動を通して、楽しみながら順序に気をつけて読み、話す言葉の力をしっかりつけたい。

## 5. 育てたい言語能力の具体的な姿

○たべあとクイズをつくるために、問いと答えの文末表現や順序に着目して読む活動を通して、事柄の順序を考えて内容の大体を読むことができる。

## 6. 厚岸町立教育研究所・国語部会研究テーマとの関わり

町研のテーマ「子どもが伸び、教師が伸びる厚岸の教育の創造―「生きる力」を育む授業作りの実践をうけ、今年度国語部会では「子ども達が生き生きと取り組む国語の授業づくり～継続した指導を通して」と研究主題を設定した。研究主題に基づき、以下の3点を意識し、授業をつくった。

- ①「系統性」～国語は曖昧な教科と言われがちである。どの学年でどのような言語能力を身につければよいのかが明確ではないため、育てたい言語能力を位置づけ、系統的に力がつくようにするべきである。低学年の説明文教材では「順序」である。前期は内容を正確に読み取る学期、後期は学年の段階に応じた学期と段階的な指導をしていく。
- ②「貫く言語活動」～課題解決的な言語活動を設定することで、学習意欲を高め、主体的な学習となるように工夫した。課題解決には、育てたい言語能力の遂行が必要というつながりが、教材文を読む必要感を生むと考える。
- ③「入れ子構造」～1時間の授業を課題追求の読み取りに終始するのではなく、課題解決（発展）の場面も1時間の授業に組み込む。追求をすぐに自分の課題解決に活かせることにより、読むことの楽しさ、有用性を実感できるように工夫した。

これらを学級担任として1年間通して「継続」していくが、担任としてこれらを「継続」するだけでは、子ども達に力がつかない。やはり、学校として「継続する」必要、何よりも小中連携して「継続」することが求められているのではないか。そのためには、まず上記の9年間を見据えた系統性（付けたい力）を国語部会で作成していく。9年目のゴールの姿を共有化して、「継続」した指導を行っていく必要がある。

## 7. 育てたい言語能力育成のために

### 手立て1 貫く言語活動の設定

#### ○たべあとクイズをつくろう！～このたべあとだれだ～

- ・クイズをつくることは、低学年の児童にとって魅力的な言語活動である。本単元では、教科書の教材を参考に、自分の好きな動物のたべあとクイズをつくる。
- ・クイズについて理解するためには、参考とする教材の大体を読んで「問い」と「答え」の文をとらえることが必要となる。クイズをつくることは、事柄の順序を考えながら内容の大体を読むことに直結する言語活動である。本単元の導入では、教師の作成したたべあとクイズを提示することで、自分の好きな動物のたべあとクイズをつくりたいという意欲と具体的な見通しをもてるようにする。

#### ○課題解決までを見通す・振り返る

- ・これまで、国語の学習を中心に学習計画を教師が作成し、掲示してきた。児童が単元の学習の流れをつかんだり、その時間に学習することを理解したりすることで、見通しを持って学習できるようにする。振り返りについては、授業の終わりに1時間を振り返らせていく。そうすることで、自分の学びや学習の目的を明確にして、学習意欲を持続させていきたい。

### 手だて2 支える言語活動

#### ○問いと答えの関係に着目して読む言語活動

- ・意味段落を形式段落に分けてばらばらにし、正しい順番に並び替えさせる。「なにがかくれているのでしょうか」や前時で学習したことをもとに、問いの文、答えの文の関係に着目し、問題事象→問い→答え→説明の順序で構成されていることをしっかり理解させていきたい。

#### ○写真と文章を対応させて読む言語活動

- ・題材の特色から写真と文章を対応させて読むことが正確な読み取りに不可欠である。写真と文章を結びつけることによって、問題事象を正確に把握したうえで、問いと出会わせるようにする。

8. 指導計画・評価計画（全6時間） ○課題追求（展開）・課題解決（発展）

時	過程	主な学習活動	教師の働きかけ	指導過程における評価規準と評価方法
1	課題の設定	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <h2 style="margin: 0;">たべあとクイズをつくらう！</h2> </div> ○課題を捉える。 ○学習の見通しをもつ。 ・自分の好きな動物のたべあとについて調べる。	□教師が作成したたべあとクイズを提示することによって、教材文を読む意欲と必要性を感じることができるようにする。	○興味や関心を持って、意欲的に取り組もうとしている。 <b>【観察】</b>
2	本時 課題の追求	○文章を写真と結びつけ、事柄の順序に気をつけながら、（一）ねずみがくるみを食べる様子について読む。 ・たべあとクイズについて調べる。	□（一）段落の本文を短冊に書き、順序をばらばらに掲示する。正しい順序を全体で考え、交流することによって、問いと答えの関係をとらえさせていく。	○文章と写真を結びつけ、問いと答えの関係に注意しながら、読んでいる。 <b>【ノート】</b>
3		○問いと答えや事柄の順序に気をつけながら、（二）りすがまつぼっくりを食べる様子について読む。 ・教師が提示した動物のたべあとクイズをつくる。	○（二）段落の本文を短冊に書き、バラバラにしたものを児童に渡す。 ○学習してきたことを手立てに、ひとりでじっくりと順序を考えることができるようにする。	○問いと答えの関係に注意しながら、読んでいる。 <b>【ノート】</b>
4		○問いと答えや事柄の順序に気をつけながら、（三）むささびが木の葉を食べる様子について読む。 ・たべあとクイズの絵を描く。	○（一）（二）段落と比べながら読むことができるように本文を提示する。 ○文章構成が同じになっていることに気づくことができるようにする。	○問いと答えの関係に注意しながら、読んでいる。 <b>【ノート】</b>
5		○「山や森」「いろいろなたべあと」などの言葉を手がかりに、身近にどんな動物が暮らしているのか話し合ったり、本を読んで調べたりして、たべあとクイズを完成させる。	○（四）まとめの段落を読み、筆者が伝えたいことが、（一）～（三）段落になっていることに気づくことができるようにする。 ○できたクイズを同じグループの友達同士、確認し合うよう促す。	○これまでの学習をいかし、問いと答えの文を用い、たべあとクイズをつくっている【ワークシート】
6	課題の解決	○たべあとクイズ大会をする。	○たべあとクイズをペアやグループで発表し合ったり、確認し合ったりすることで、文章構成について再度理解を深めることができるようにする。	○すすんでクイズを発表したり、聞いたりしている。 <b>【観察】</b>

9. 本時案

(1) 本時の目標

○問いと答えや事柄の順序に着目することによって、内容の大体を読むことができる。

(2) 本時の展開 (3 / 6)

学習活動	主な教師の関わり (◎発問 ○指示 )	評価◆と支援△
<p>～基礎基本の時間～</p> <p>○話す聞くスキルで一人一分音読をする。</p> <p>○全員音読をする。</p>	<p>○今日は、風の又三郎とじゅげむを暗唱しましょう。</p>	
<p><b>第2段落を正しいじゅん番にならびかえよう</b></p>		
<p>～教科書の時間～</p> <p>○課題を捉える。</p> <p>○正しい形式段落の並びを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ B→D→A→C</li> </ul> <p>○全体で正しい並びを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ たべあとの説明の文が最初</li> <li>・ ～でしょうは問いの文だから初めのほうだ</li> <li>・ ～ですとなっている、答えの文が問いの次にくる</li> <li>・ 食べ方の説明は最後</li> </ul> <p>○ペアでたしかめインタビューをする。</p> <p>①だれがまつぼっくりをたべたのでしょうか？「ぼくがたべたのです」</p> <p>②あなたは どうやってまつぼっくりをたべるのですか？「しんをのこして、たねだけをたべます」</p> <p>○第2段落を音読する。</p> <p>○エゾリスのたべあとクイズにあう文を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二つにわれたくるみのからが、おちています。</li> <li>・ だれが、たべたのでしょうか。</li> <li>・ エゾリスがたべたのです。</li> </ul>	<p>○ばらばらの段落カードを正しくならびかえましょう。また、大事な部分にサイドラインやメモを書きましょう。</p> <p>○みんなで並びを確認していきましょう。</p> <p>◎順番はどうなりますか？理由も教えてください。</p> <p>○りすとインタビュアーになって、たしかめインタビューをしましょう。</p> <p>○第2段落を音読しましょう。問いの文は声を大きく、答えの文は小さく音読してみましょう。</p> <p>○エゾリスのたべあとクイズをつくりましょう。</p>	<p>△写真を確認し、問いと答えの文だけではなく、事柄にも着目させる。</p> <p>△今まで学習してきたことを手立てとして掲示する。</p> <p>◆問いと答えの文、事柄に着目して内容を読み取ろうとしている。【観察】</p> <p>△質問事項を掲示物で確認できるようにする。</p> <p>△「何が何をどう食べたのか」を意識させる。</p> <p>△全体でたべあとがどのような状態になっているか確認してから取り組ませる。</p> <p style="text-align: right;">【ノート】</p> <p>◆問いと答えの文、事柄の順序に気をつけクイズをつくらうとしている。【ワークシート】</p>